

ひまかげ ☉ 議会だより

No.61

2025.4.15

発行編集:日之影町議会報編集委員会

注目予算・P4
注目議案・P5
一般質問・P10～P11

農家とともに9年目
アグリファーム「トマトハウス」



表紙者インタビュー

(株)ひのかげアグリファーム
スタッフの皆さん

ひのかげアグリファームが設立されてから何年ですか？

9年目です。

年間の大まかなスケジュールを教えてください。

主なものとして、1月から3月「栗柚子残幹作業応援・草刈作業・寒起こし」3月から6月「トマトハウス準備・苗定植、米苗作り・代掻き・水田畦畔草刈」6月から9月「田植え・ドローン防除・果樹園下刈・トマト収穫、管理」9月から12月「コメ収穫作業・ウコン収穫・草刈作業」などです。

苦労したりつらいと思う事はありますか？

酷暑の中でのハウス作業や草刈作業はとてもハードです。天候の不良によりドローンやコメ収穫作業が遅れるのがつらいですね。

この仕事をやっていて嬉しかった事、やりがいはありますか？

「農家の方からいただく感謝の言葉」です。受託作業のやりがいは「農家さんが様々な作業が出来なくなっても、私達が米作りや畑づくりをお手伝いする事で営農が続けられると喜んでくれる事」です。

町内農家から体制強化への期待と要望が大きくなっていますが、新たに仲間になる人には何を望みますか？

体力仕事で農繁期は特に忙しいので、元気でやる気のある方、農家さん優先で仕事に取り組める方、何より農業に興味、関心がある方がいいですね。

今後はどのような事に取り組んでいきたいですか？

冬場の収入源として、日之影町の特産である原木シイタケや杉苗の栽培にも取り組んでみたいですね。

■アグリファーム作業メンバー

- ・社員 …………… 3名
- ・パート …………… 20名

■保有機械

- ・トラクター×2
- ・乗用田植機(4条×1/5条×2)
- ・コンバイン(2条×2/3条×3)
- ・ハンマーナイフモア×2
- ・バックホー
- ・ジャイロレーキ
- ・ロールペーラー
- ・ラッピングマシン
- ・フォークリフト
- ・ホイールローダー
- ・自走式モア
- ・管理機
- ・高畝成形機
- ・ユニック
- ・ダンブ

●令和6年度受託実績

項目	品種・作業内容	数量・面積
水稲育苗	ヒノヒカリ	4,923枚
	もち米	125枚
	WCS	1,001枚
耕起・代かき	耕起	236a
	荒代かき	349a
	植え代かき	382a
	荒植え代かき	79a
田植え	-	1,019a
水稲防除	-	10,401a
稲刈り	-	1,460a
乾燥	-	2,995袋
粉摺り	-	435袋
	反転	19a
牧草関係	ロール・ラップ	53ロール
	農地除草	1,382a
草刈作業	樹園地除草	422a



令和7年新規住宅施策始まる!!



八戸地区住宅整備

(担当課：建設課)

総額 61,140万円

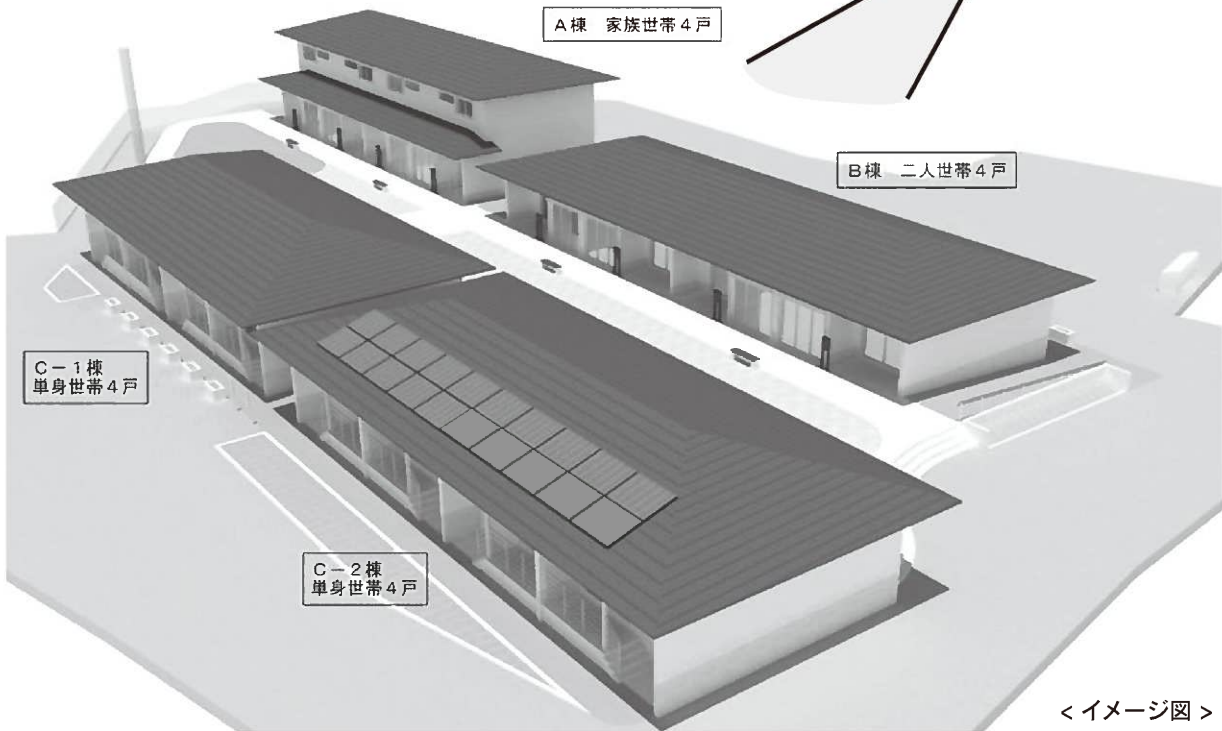
工事請負費 58,800万円

委託料 1,900万円

その他 440万円



建設予定地



A棟 家族世帯4戸

B棟 二人世帯4戸

C-1棟
単身世帯4戸

C-2棟
単身世帯4戸

<イメージ図>



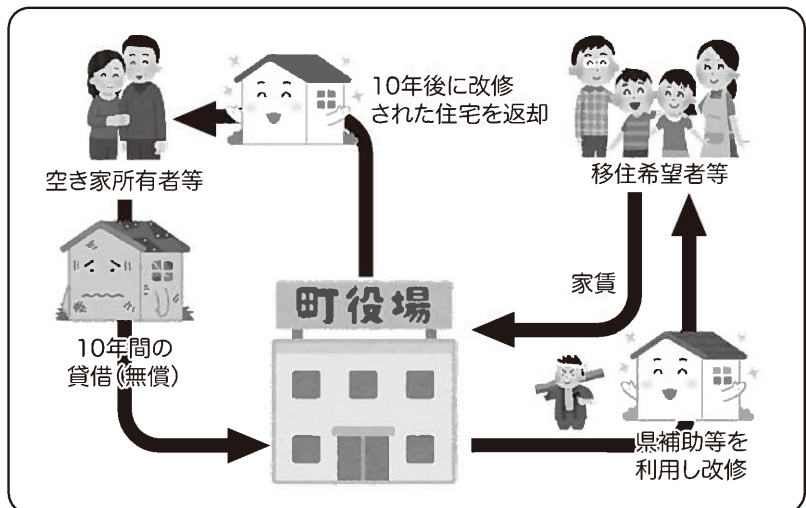
空き家サブリース事業

(担当課：地域振興課)

委託料 208万円

空き家対策の新たな一手!

町が空き家所有者から物件を一定期間無償で借り受け、その物件を入居者に貸し出します。



注 目 予 算

ペーパーレス会議システム導入事業 891万円(議会費・総務費)

タブレット導入による事務の効率化を図るための諸経費含む



地域プロジェクトマネージャー事業 614万円

果樹ブランド維持の為、生産加工販売における課題解決に取り組む



文化財調査・活用促進事業 216万円

地域おこし協力隊採用による文化財調査研究



シニアカー購入補助事業 30万円

一台当たり上限15万円補助(購入費の2分の1)
※ただし介護認定2から5の方は対象外



日之影中学校校舎外壁塗装 改修事業 7,900万円

建設から30年経過し、経年劣化に伴う塗装工事



子ども医療費助成事業 1,000万円(うち、高校生世代150万円)

令和7年度から対象年齢を18歳まで引き上げ

令和7年4月から
高校生世代
まで
助成拡大



第1回定例会 議案一覧

全て原案可決

議案番号	件名	概要
同意第1号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	馬場伊左子氏再任 任期：令和7年3月11日～令和10年3月10日（3年間）
同意第2号	西臼杵郡公平委員会委員の選任について	高千穂町から選任されている甲斐教也氏再任 任期：令和7年4月26日～令和11年4月25日（4年間）
議案第2号	日之影町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	職責重視体系とし、役割に見合う処遇改善のため初号付近の号棒をカットし初号額の引上げ、配偶者に係る扶養手当を段階的に廃止し、子に係る扶養手当を段階的に充実させるもの
議案第3号	日之影町旅費条例の一部を改正する条例	法定額と実勢価格との乖離を解消するために宿泊費を定額支給から上限付の実費支給とするもの
議案第4号	日之影町子ども医療費助成に関する条例の一部を改正する条例	0歳から15歳までの医療費全額助成を、対象年齢18歳まで引き上げるにより条例の改正を行うもの
議案第5号	第6次日之影町長期総合計画の策定について	日之影町議会の議決すべき事件に関する条例の規定により、議会の議決を求める「第6次日之影町長期総合計画」令和7年度から令和16年度までの10年間における総合的な指針として策定
議案第6号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について	辺地に係る公共的施設の総合整備のための財政上の特別措置等に関する法律第3条第1項の規定により、議会の議決を求める「辺地に係る公共的施設の総合整備計画」令和7年度から令和11年度までの5ヶ年間ににおける辺地地域の公共的施設を総合的かつ、計画的に整備するために策定
議案第7号 議案第13号	令和7年度日之影町一般会計予算及び特別会計予算6議案	一般会計予算：61億7,000万円 国民健康保険事業特別会計予算：6億7,016万円 奨学資金事業特別会計予算：1,386万円 介護保険特別会計予算：6億4,004万円 後期高齢者医療特別会計予算：6,381万円 簡易水道事業会計予算：1億845万円 農業集落排水事業会計予算：2,501万円
議案第14号 議案第19号	令和6年度日之影町一般会計補正予算（第9号）及び特別会計5議案	一般会計補正予算：2億735万円減額、総額60億6,595万円 国民健康保険事業特別会計補正予算：441万円減額、総額6億7,726万円 奨学資金事業特別会計補正予算：155万円増額、総額1,379万円 介護保険特別会計補正予算：1,084万円減額、総額6億6,880万円 簡易水道事業会計補正予算：20万円増額、総額1億1,111万円 農業集落排水事業会計補正予算：6万円増額、総額2,485万円
発議第1号	日之影町議会の個人情報保護に関する条例の一部を改正する条例	刑法等の一部改正法等の施行に伴い、「懲役」又は「禁錮」を含む条例や規則等の地方公共団体が制定した法令の規定中、改正対象字句を「拘禁刑」に改める

ガソリン暫定税率・ガソリン税の撤廃を求める意見書（発議第3号）

暫定税率の廃止等、燃油価格高騰への対策は地域経済をはじめ国民生活に関わる重要な問題であるため、国に対して下記の施策が実施されるよう強く要望する。

1. ガソリン税の廃止または暫定税率を撤廃すること
2. ガソリン価格高騰時における揮発油税等の発動停止規定を凍結すること
3. 医療、福祉、教育、道路インフラ等地方にしわ寄せがこないよう減収分においては交付税措置を行い地方行政運営に支障がないようにすること

上記の趣旨で意見書を議長名で国の関係機関へ提出することを議決

予算審査特別委員会委員長報告

委員長 小谷 幸治

本委員会に付託されました令和7年度日之影町一般会計予算並びに特別会計予算の7議案の審査報告を致します。

一般会計当初予算は前年対比7%増の61億7000万円で編成され、投資効果を勘案しながらの予算となっているが、地方交付税や国県支出金等の依存財源比率は82.6%と高く、歳出においては人件費、扶助費は減少しているが、大規模事業に伴う起債発行による実質公債費比率や将来負担比率の上昇が見込まれ、厳しい状況にある。

その様な中、人口減少や定住対策として八戸新規住宅団地整備事業や都市部での移住相談会への参加、果樹栽培の課題解決に向けたプロジェクトマネージャーの採用、町民の利便性向上のための「書かない窓口」の構築、文化伝統芸能への継続的な支援を行う文化財全般を担当する地域おこし協力隊員の採用など、将来を見据えた持続可能な町づくりに繋がる新たな取り組みなど、直面する課題や町民のニーズに対応するため国県の事業等を有効に活用した予算編成を評価するものである。

基幹産業である農業振興については、令和7年度から新しく第6期対策の中山間地域等直接支払

総括質疑

総務文教常任委員会

行財政運営について

【町長】現状の起債状況からすると令和19年度の実質公債費比率を12.7パーセントが最高になるとシミュレーションしている。しかしながら基金残高で比較すると同規模自治体と比較しても健全な状態にある。今後、自主財源をしっかりと確保できるようふるさと納税の返礼品の品揃えの強化を図っていくとともに、国・県事業を活用した行財政運営を行っていく。

未来を担う子育て支援について

① 中学卒業後をサポートする支援金の新設について

【教育長】中学卒業後をサポートする支援金の新設は、中学校卒業後就職する子どもたちや高校進学においてもタブレット端末購入など費用がかさむので少しでも支援ができないかと思いい新設したもので卒業生1人あたり3万円支給するものである。

② 地域で子育て推奨事業とは

【町長】休日就労する家庭が増加するなか、サポートするための実証事業は岡山県の奈義町を参考にしたもので少しの間でも子育てのサポートができる体制を整えるための実証事業となっており、冠婚葬祭時、働きたい時などに子

総括質疑

経済建設常任委員会

農林業の振興策について

① 第6期対策の中山間地域等直接支払制度から、国が示す地域計画策定状況は

【町長】本町では、直接支払交付金制度の集落協定をしている59地区を対象に西日杵支庁と連携して策定作業を進め、3月末には作成を終える予定である。

② 増加傾向にある受託作業について、アグリファームは担い手協議会との連携を図る方針だが、その連携方針は

【町長】昨年の行政座談会でアグリファームの組織強化を図って欲しいとの意見が多数あった。そのため、ハローワークへの求人、地域おこし協力隊、ワーキングホリデー、特定技能外国人の雇用などで図って行きたい。また、担い手協議会がやれること、アグリファームがやれることなど連携をして動きやすい方法などに取組んで行くと考えている。

町道のインフラ整備について

① 町道の改良が3年間ストップしている所もあるが、優先順位は

【町長】災害復旧が第一の優先と捉えており、令和5年度及び令和6年度の2年間、一部の改良工事は休止状態となっている。ただし、今後

い制度が始まる中で、更なる59組合の集落営農や受託組織活動の支援体制を望むものである。

商工観光については、旧役場跡にリニューアルオープンした日之影町コミュニティセンターや竹細工資料館を核とした各種イベントの開催や、日之影温泉駅などと連携した中央地区の賑わい創出に繋がる活性化への取り組みが必要である。

また、高齢者から子供までが健やかに暮らせる社会を目指し、高齢者大学やいきいきサロンの実施、シニアカー補助や次代を担う地域の宝である子ども達には出産祝い金の支給、医療費全額助成を18歳まで引き上げるなどの他、中学校卒業後をサポートする支援金が新設され、子育て支援の充実が移住、定住施策となり人口増を期待するものである。

各課の支出予算においては、物価高騰や管理費見直しの影響で、各事業の委託費等の増加が見受けられ、事業契約に至っては、自治体の責務である「最小の経費で最大の効果」を上げることが念頭に適正な内容検証が必要である。

令和7年度は、本町の向こう10年間の基本構想を策定する第6次日之影町長期総合計画のスタートの年でもあり、町の更なる発展に向け、行政と議会が共に情報共有に努め、一丸となって「未来への新たな光を灯す町ひのかげ」の実現のため取り組む事が肝要である。

以上、令和7年度一般会計予算並びに特別会計予算の7議案については、本会議において可決すべきものと決定致しました。

育てのサポートをする事業であり、社会福祉協議会が行う。

文化・芸能活動支援について

【教育長】日之影町には多くの有形無形文化財が存在しており、町史編纂から25年経過している。改めて本町の文化財の調査をするために文化財全般を担当する地域おこし協力隊を採用する計画を立てている。採用にあたっては、町内はもとより町外にも公募をかけ有資格者を採用し本町の文化財保護に尽力していただきたいと考えている。

すこやかな町づくりについて

① 町民の健康知識をどのように高めるのか

【町長】生活習慣や生活環境の変化により癌や生活習慣病が多くなってきている。そのような経緯もあり医療費、介護保険料も増加傾向にある。保健指導を含め、健康診断を受診し健康状態を適切に把握し予防、重症化を防ぐという意識づけなど健康づくりに努めていくことが大事ではないかと考えている。

② 認知症に関する啓発事業とは

【町長】認知症に関する啓発事業は認知症の方が尊厳と希望を持って生活できるように、共生と予防を車の両輪として施策を推進することで、各地区公民館の健康座談会などで早期発見、早期治療の体制に努めていきたい。

改良工事が必要な箇所については、令和5年度から6年度にかけて測量設計を7路線実施し、令和7年度予算においては、9路線の事業を優先として計上している。

人口減少対策について

① 独身男女の出会いの機会を創出するイベント等を企画・運営する団体等への補助金を新たに創設する方針策は

【町長】役場指導等で取り組んできたが、中々難しい状況で、地域から「このままじゃいかんぞ」という声があり、未婚者対策は役場、普及センター、営農センター等も含めた組織が必要であり、一体となって取り組んで行きたい。

商工観光の振興について

① 観光協会と連携を図り、イベント等の発信とブランド力を活かした交流及び関係人口の獲得は

【町長】観光協会のネットワークにより、色々な情報発信に取り組んでいただいている状況である。圏域内5町村で農家民泊ツアーや修学旅行団体等の受け入れも行い、周遊商品などを企画することも観光協会で大変重要な事と思う。今後、観光協会と行政との連携を図り、組織の機能強化に努めて行く。



注目補正予算



「最新技術で耕作放棄地の増加を食い止める！」

山間地域農業持続化モデル構築事業補助金210万円

ドローンを使って田んぼに直接種もみをまくことが可能な機種
の購入補助等。

苗作りの工程を省き、田植えの負担を減らすことにより作業時間の短縮や人手不足の解消に繋がる
ことが期待される。



直播さ実証実験



「要注意!アナグマ増加中！」

有害鳥獣買い上げ金91万円(減)

当初予算見込みは総計、約2,300頭の申請予定であったが、現在(2月末時点)の実績が2,258頭であった。内訳はイノシシ815頭+幼獣17頭、シカ1,163頭、アナグマ263頭。アナグマの捕獲は昨年度を100頭程度上回り捕獲数が増加傾向にある。主な捕獲は小型箱罠である。



▲ アナグマ

タヌキ ▶



「ふるさと納税の今！」

ふるさとと応援寄付金1840万円/まち・ひと・仕事創生寄付金340万円

ふるさと納税制度が導入されて17年、本町のふるさと納税は導入当初からすると現段階で役1.5倍。企業版ふるさと納税は2社から22社へ増加。3月補正時点でふるさと納税2,387万円。企業版ふるさと納税7,540万円。ふるさと納税は、まちづくり、地域振興事業に使用される財源となっている。



特産物の返礼品



九州中央道整備促進西臼杵議会特別委員会報告

会長 甲斐 徳仁

西臼杵3町で構成する特別委員会は、令和5年6月に設置をし、目的は関係市町村、議会、関連団体等の情報共有と、より細やかな提言活動が出来る組織として立ちあげました。

これまで、宮崎・熊本の両県を始め、国土交通省や関連省庁及び各政党に対して、本県の遅れている高速ネットワーク形成に向けた力強い提言活動を切れ間なく展開しています。

災害に強く、更には命の道や経済道路・観光・交流人口の増加等の本路線の早期の完成は沿線住民の悲願であり、早急な整備が必要です。

昨年12月に平底く蔵田間が計画段階評価の着手を受けて国土交通省は第1回目の委員会を実施しました。

本特別委員会はその後、県、国土交通省や西臼杵3町、延岡、日向市の商工会議所等と意見交換会を実施し、新たな町づくりを提唱し一丸となり意識醸成に努めています。

今後は沿線自治体や住民の方々から様々な意見やアンケート調査等が図られる事になります。他方、その事による新たな持続可能な町づくりも同時進行になる事から、引き続き委員会は熱量を持ち活動をしていきますので、皆様方のご理解ご協力を重ねてお願いし現在までの経過報告とします。



郵便はがき

8 8 2 0 4 0 1

恐れ入りますが、85円分の切手をお貼りいただくか議会事務局までご提出ください。

日之影町大字七折9079

日之影町議会事務局 行

氏名（掲載しません）

ペンネームなど



ご意見箱設置場所

- ・役場玄関
- ・道の駅レストラン前

更により良い議会だより

町づくりのため

皆様の声をお聞かせください!

例えば…

「こんな企画、特集があったらいいな」

「ここを変えたらもっと読みやすくなる」

「議会のここが分からない」

「そもそも議員の仕事が分からない」

等とにかくテーマは何でも構いません。

匿名でも実名でもペンネームでもOKです。

提出はハガキ、ご意見箱、メール (gikai@town.hinokage.lg.jp) でお受けいたします。

なお、いただいたご意見は、個人情報保護の上議会でのみ使用します。

一 般 質 問

本町の災害対策は

町長 備えに対する意識を高めながら本町の備えも充実していく



高 舘 英 嗣
議 員

問 近年激甚化する災害が多くなつてきているが本町の備えは

町長 昨年8月に襲来した台風10号の際にはエアマツト120枚の配布、パーテーションの設置、簡易ベッドの設置を行なった。今後、簡易ベッドを避難所毎に備え、孤立が懸念される避難所には発電機の整備、通信手段の整備を予定している。

問 備蓄品の内容は

町長 発災初期の生命維持や生活に最低限必要な物資である食料、幼児用ミルク、毛布、おむつ、携帯簡易トイレ、トイレットペーパー、生理用品、マスク、手指消毒液、飲料水を備えている。また、消費期限の短い幼児用ミルクは保健センターと情報共有し平時からローリングストック法により備蓄を図っている。

問 備蓄米についての考えは

町長 現在アルファ米を400食備蓄しており、消費期限が近づいたら学校行事で食していたき新たなストックを行うようにしている。

問 日之影町産の米を備蓄すること、毎食では無いが給食での日之影町産米提供を行うことができるようになると思われるが教育長の見解は

教育長 日之影町産米の提供ができるようになる事は非常に良い事だと思われるが、米を保管する設備が無いので保管設備を整備する必要がある。

問 保管設備は国の制度である緊急防災減災対策事業債を活用し整備できると思われるが町長の考えは

町長 活用は可能であると思われるので今後検討していく。

基本条例一部改正

発議第2号

日之影町議会基本条例の一部改正する条例について日之影町議会の透明性と町民への説明責任をより一層高めるため、議案採決前に議員間で自由に意見交換を行う「討議」を制度化するもの

【 質疑・討論・討議の違い 】

	質疑(執行部への質問)	討論(賛成・反対を述べる)	討議(議員同士の議論)
目的	執行部の考え、意図を確認	自分の意見を主張し、採決に影響を与える	議員同士で論点を整理し、より良い結論を導く
相手	執行部(町長・教育長・課長など)	他の議員・住民向けの発言	他の議員との意見の交換
流れ	問い→答え→終了	立場を表明し、賛否を述べる	多様な意見を出し合い、整理する
結論	執行部の説明を聞くだけ	結論は賛成・反対のみ	多角的な検討を経て、議論の方向性を探る

日之影町議会では開かれた議会、町民の皆様によりわかって頂ける議会運営へ向けて協議を重ねていきます。ご意見、ご提言等ご遠慮なくお寄せください。

◇あなたの年齢は？(○をつけてください)

10代・20代～30代・40代～50代・60代以上

◇「議会だより」に対するご意見ご感想

◇ 町や議会に対するご意見

ありがとうございました

人口減少に伴う対応策は

町長 民間による賃貸住宅建設に引き続き支援していく



久川 輝久
議員

問 ベッドタウン構想のその後の取組は

町長 九州中央自動車道平底く蔵田間の計画段階評価着手にあたり町内外への通勤が容易になり活性化が期待される。ベッドタウン構想も含めて現在八戸地区に単身・家族世帯・高齢者世帯に対応できる16戸整備を進めている。また住宅用地確保についても道路整備における課題を整理し「将来構想ビジョン」を検討していく。

問 コミュニティセンターの利用状況、拠点とした活性化策は

町長 オープンして2ヶ月過ぎた所であり、利用状況としては観光案内所、竹細工資料館見学共170名程度と伺っている。テナントの状況については2階テナントに4月より1社入居の予定である。中央地区の活性化については各種イベント、温泉駅を組

問 旧高橋呉服店の建屋とひな人形を含めた観光面からの取組は

合わせた周遊イベント等、観光協会、商工会との連携を取りながら進めて行く。また、バリアフリー対応についても調査研究を進めている所である。

町長 令和6年6月の質問から9ヶ月が経過しているが、建屋の文化的評価は不明であり、町としては個人財産の取得はできないと考えている。しかしながら、中央地区の活性化に合わせ今後の在り方については所有者、関係団体との協議を進めていきたい。

問 国スポ・障スポの開催の本町の取組は

教育長 本町では令和9年なごな競技を正式競技として開催が決定している。選手、監督、役員含め600人強の参加が想定されている。宿泊施設等本町のみでの対応は困難であり、全市町村一括での合同配宿方式が予定されている。本町の魅力を全国に発信する絶好の機会ととらえ、先頭にたつてなごな競技の成功に繋げていきたい。

日之影町コミュニティセンターをどう活用していくのか

町長 中央地区の魅力をもっと高め、賑わいの創出と活性化に繋げていきたい



久保 優一
議員

問 まち・ひと・文化の融合とは

町長 まち・ひと・文化の融合とは、コミュニティセンターが人々を集う場とし、さらに本町の伝統文化の魅力を体感出来る場として一体的な活用が図られることにより、中央地区はもとより町全体の活性化に繋げて行きたいという想いを込めている。

問 活性化・賑わいの創出とは具体的に何をやっていくのか

町長 今日まで営々と続けられてきた夏祭りや鯉のぼりの掲揚、新たなイベントの唐揚げフェスや日之影ライド、中央地区にある酒蔵などの魅力ある資源を生かした周遊、見立への観光の入口として活用していきたい。

問 新たにリニューアルされて「活用したい」とおっしゃる方もいる。その様な大きなイベント以外にも有志による小規模なイベントも募ってはどうか

町長 以前は各地区でも様々なイベントが行われていた。高齢化や人口減少などの要因もあり、昨今ではなくなってきたところもある。これからみんな地域を盛り上げて、少しでもいいからやっていくということが、大きな力にいずれ成ってくるといふことだと思っている。その積み重ねが鯉のぼり、唐揚げフェス、夏まつりひのかげである。ご相談いただければ一緒になって出来る事はやっていきたい。



こいのぼり掲揚

議会活動状況 (1月16日～4月15日)

1月		2月		3月		4月	
4日	はたちの集い	2日	町民の集い	1日	高千穂高校卒業式		
5日	消防始式	3日	第1回臨時会	2日	五ヶ瀬中等教育学校卒業式		
6日	仕事始式	6日	郡中央道特別委員会あいさつ 回り(延岡・宮崎市)	4日	第1回定例会(一般質問) 議会運営委員会・全員協議会		
7日	郡議長会あいさつ回り 賀詞交換会	8日	徳富神社大祭	6日	第1回定例会(総括質疑)		
8日	童里トンネル貫通式 (高千穂町)	10日	北部広域行政事務組合議会 (延岡市)	11日	予算審査特別委員会 固定資産評価審査委員会委員 辞令交付式		
		17日	郡議長会要望活動 (18日まで、福岡・熊本)	12日	予算審査特別委員会 認定農業者研修会		
11日	岩井川神社例大祭			14日	予算審査特別委員会 議会運営委員会・全員協議会 防犯ブザー贈呈式		
12日	市町村対抗駅伝競走大会 激励会(宮崎市)	19日	県町村議会議長会定期総会 (宮崎市)	16日	日之影中学校卒業式		
13日	市町村対抗駅伝競走大会 (宮崎市)	22日	延岡町人会(延岡市)	19日	第1回定例会(閉会) 溪谷まつり実行委員会		
15日	新春交通安全祈願祭 (高千穂町)	26日	郡中央道特別委員会あいさつ 回り(延岡・日向市)	24日	高齢者大学卒業式		
17日	日之影町コミュニティセン ター落成式	27日	出産祝い金贈呈式	25日	町内小学校卒業式		
		28日	第1回定例会(開会)	27日	出産祝い金贈呈式		
20日	郡中央道特別委員会及び郡林 活協議会役員会 出産祝い金贈呈式			31日	退職者辞令交付式		

発行責任者
議長 甲斐 睦彦

議会編集委員
委員長 久保 優一
副委員長 一水 輝明
委員 河野 學
委員 高館 英嗣
委員 小谷 幸治

色とりどりにさまざま
な花が咲き競う美しい季
節となりました。入学や
入社と春は出会いの季節
でもあり新しい道へと進
み始める船出の季節でも
あります。

3月議会を経て新年度
予算の中で本町も動きは
じめました。令和7年度
は八戸地区の住宅整備を
はじめ新規事業も目立ち
ました。議会といたしま
しても執行部のチェック
機能という本分をあらた
めて認識し本町の発展に
寄与できるよう活動して
まいります。

高館 英嗣

編集後記